



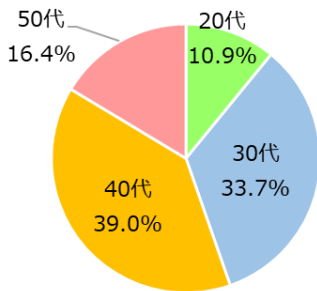
《調査報告》 将来のキャリアに関する意識調査(WEB アンケート)

調査のねらい	自社の未来を担うリーダーとして活躍を期待されている九州生産性大学経営講座の受講者を対象に、将来のキャリアに関する意識調査を実施した。 今回は、仕事でのキャリアを考える際、“自己実現”や“周りに認められる”という“承認欲求”という点で大きな要因の1つとなる「出世(昇進)」について設問を設けた。
調査対象	九州生産性大学経営講座受講者 517名 (トップを囲む懇談会・戦略的データ活用基本コースを除く)
調査期間	各コースとも7月講座時に実施 QRコードよりWEB回答(1人1回答)
回答数	404人 (回答率78.1%)
調査項目	<p><これからのキャリアについて></p> <p>Q1 現在のあなたのキャリアの満足度は何割？</p> <p>Q2 今後、今の職場でもっと出世(昇進)したいですか？</p> <p>Q3-1 Q2で「出世(昇進)したい」と回答した方へ「出世(昇進)したい」と思う理由は？(複数選択可)</p> <p>Q3-2 Q2で「出世(昇進)したくない」「どちらともいえない」と回答した方へ「出世(昇進)したい」と思わない理由は？(複数選択可)</p> <p><思い描くキャリア実現に向けて></p> <p>Q4 将来、今の会社であなたが描く未来(出世やスペシャリスト)に向けたキャリアを思い通りに積めていると思いますか？</p> <p>Q5 “Q4の質問”について、そう思う理由(選択した理由)を教えてください。(自由筆記)</p> <p><さらにその先のキャリアについて></p> <p>Q6 将来(今後)、第一線で活躍しているあなたの役割や仕事が若手に移った後、あなたはどんな働き方(キャリアの積み方)をしていると思いますか？</p> <p>Q7 自分が望むキャリアを歩むために、自身や組織に必要なと思うものは何ですか？(自由筆記)</p>

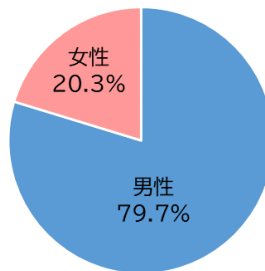
「今の職場でもっと出世(昇進)したい」人は48.0%。ただし男女で比較すると割合は約2倍の差。また、「今の職場で自身が描く未来(出世やスペシャリスト)に向けたキャリアを思い通りに積めている」と感じている人は全体で63.5%となったが、男女で比較すると差が出る結果に。

【回答者区分】

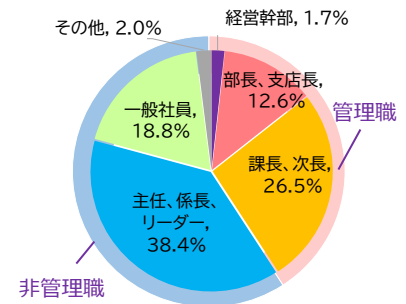
(1) 年齢(年代別)



(2) 性別(男女比)



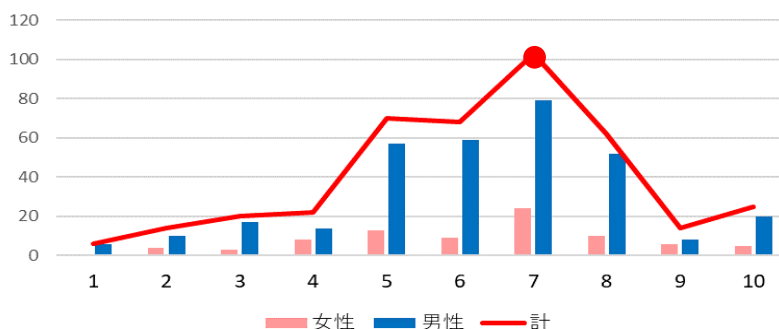
(3) 現在のポジション



Q1 現在のあなたのキャリアの満足度は何割？

満足度を10段階で尋ねたところ、男女ともに満足度「7」の回答が一番多かった。満足度「10」に25人いる一方、満足度「1」にも6人いた。「1」回答の6人の内訳を見ると、全員男性で、年代別で見ると20代、30代、40代に2人ずつ、現在のポジション別で見ると全員が非管理職(課長未満)であった。また、年代別で見ると、30代以上は「7」が一番高かったが、20代は「5」が一番高い回答となった。

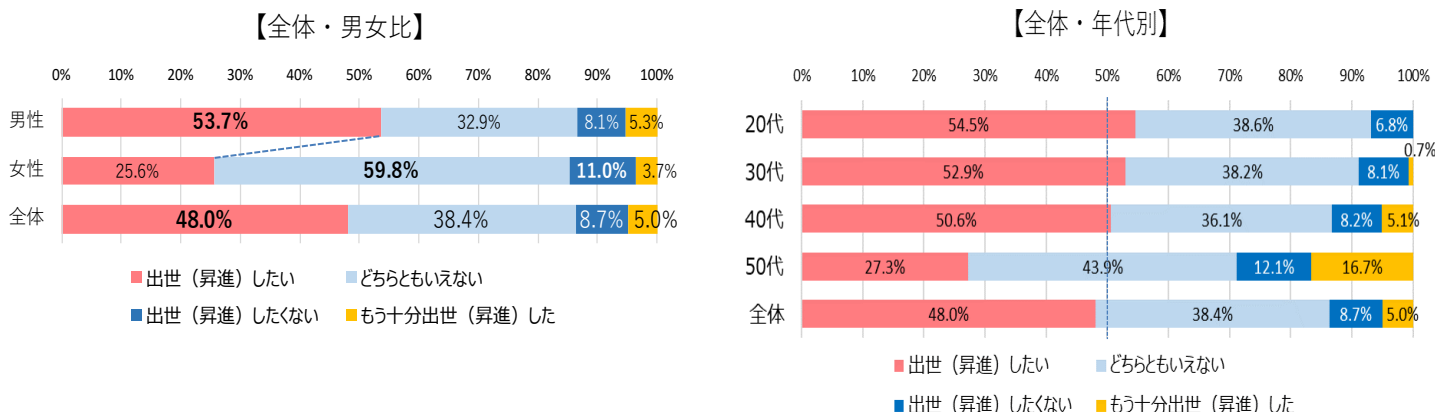
【全体・男女比】



(人)

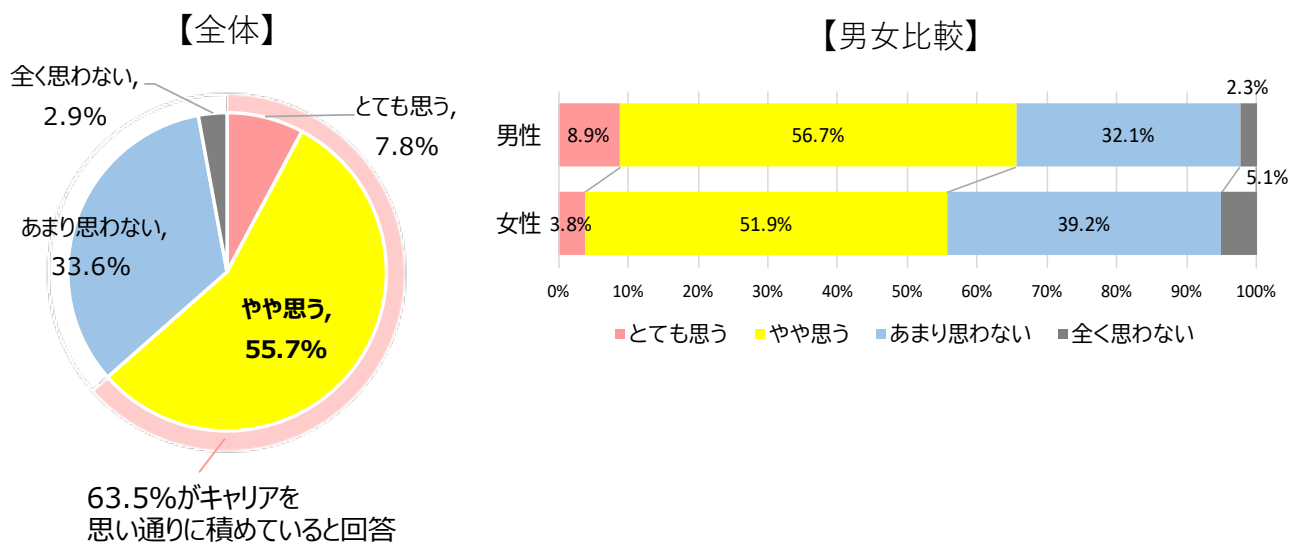
Q2 今後、今の職場でもっと出世(昇進)したいですか？

全体で 48.0%の人が「出世(昇進)したい」と考えているが、男女で比較すると、男性 53.7%に対して女性は 25.6%と約半分の割合となっており、男女の意識の差がうかがえる結果となった。
年代別で見ると、20代～40代まで 50%を超える人が「出世(昇進)したい」と考えていることがわかった。



Q4 将来、今の会社であなたが描く未来(出世やスペシャリスト)に向けたキャリアを思い通りに積めていると思いますか？

全体で見ると、「やや思う」が 55.7%で一番高く、次いで「あまり思わない」が 33.6%という結果になった。「とても思う」「やや思う」と回答した、キャリアを積んでいると感じている人は 63.5%、全体の6割を超えている。ただし、男女で比較すると、「とても思う」は男性が 8.9%に対し女性は 3.8%にとどまる一方、「全く思わない」は男性が 2.3%に対し女性は 5.1%と、男女の差が見える結果となった。また、「全く思わない」と回答した人を Q1のキャリアの満足度別に見ると、4と9以外のほぼ全階層に存在しており、今のキャリアの満足度とは関係なく一定数の方がいることが見えた。



※その他の設問を含む、全調査結果に関しては、当本部HPにて掲載いたします。

九州生産性本部 「報告・機関紙」ページ

＜本件に関するお問い合わせ先＞

(公財)九州生産性本部 総務広報グループ 三小田・中尾 TEL:092-771-6481